

【主催】
日本自然保護協会 (NACS-J)
世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン)
日本野鳥の会

海の生物多様性フォーラム

日本の海の今を考える ～新たな生物多様性国家戦略に向けて～
2012年5月19日(土)13:00～18:00 (12:30 開場)

主催：日本自然保護協会 (NACS-J)・世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン)・日本野鳥の会 共催：生物多様性保全・法制度ネットワーク
会場：フォーラムエイト 8階クイーンズスクエア (150-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大宗ビル/渋谷駅徒歩5分)
定員150名 事前申込：不要 資料代：500円

2010年の生物多様性条約締約国会議 (CBD-COP10) で世界が取り組む「愛知目標」が決議されました。地球温暖化や海洋資源の面からも、「海の生物多様性」への注目は世界中で高まっています。海に囲まれた日本では、台風や地震・津波といった自然攪乱があるなか、いかに生物多様性を失わずに、豊かな自然からの恵み (生態系サービス) を持続できる暮らし方を実践できるかが問われています。市民の起草から制定された生物多様性基本法 (2008年) に基づいて生物多様性国家戦略の見直しが始まったいま、日本をとりまく海の課題を明らかにし、新たな生物多様性国家戦略での解決策を、市民・行政・専門家・マスメディアが集まり、ディスカッションします。あなたもぜひご参加ください。

プログラム (予定) ■I部：講演 (13:10～13:40)

「日本の海洋生物多様性をどう考えるか」 白山義久 (海洋研究開発機構理事)

■II部：パネルディスカッション (13:45～16:35)

セッション1：東北 「津波被災地の沿岸域、生物多様性と復興・復旧を考える」

朱宮丈晴 (NACS-J) 「東日本海岸調査から」、前川 聡 (WWF ジャパン) 「浅海域の回復」

菅野広紀 (陸前高田市市会議員) 「陸前高田の現場から」

藤巻浩之 (国土交通省海岸室) 「海岸堤防の復旧等に向けた取り組み」

堀上 勝 (環境省国立公園課) 「三陸復興国立公園構想」

コーディネーター：中静透 (東北大学)

セッション2：生物 「回遊する生物の減少、水産資源の管理を考える」

井田徹治 (共同通信) 「ウナギの生態と事情」、

山内愛子 (WWF ジャパン) 「水産資源管理と認証制度」

熊谷徹 (水産庁資源管理推進室) 「我が国周辺水域における水産資源の管理」

山本麻衣 (環境省野生生物課) 「海洋生物の希少性の評価」

コーディネーター：吉田正人 (IUCN 日本委員会)

セッション3：空間 「日本の海洋保護区 83%、その内容を考える」

安部真理子 (NACS-J) 「83%を問う」、葉山政治 (日本野鳥の会) 「海鳥の重要海域」

塚本瑞天 (環境省自然環境計画課) 「海洋保護区の定義とネットワーク」、

山内精 (水産庁生態系保全室) 「日本の漁業と海洋保護区」

コーディネーター：中井達郎 (国土館大学・NACS-J 理事)

■III部：総合討論 (16:55～18:00) 「新たな生物多様性国家戦略に向けて」

進行：倉澤七生 (生物多様性保全・法制度ネットワーク)・草刈秀紀 (WWF ジャパン)

パネラー：各セッションのコーディネーター、奥田直久 (環境省生物多様性戦略室)

【会場へのアクセス】

フォーラムエイト 8階クイーンズスクエア
150-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大宗ビル
渋谷駅ハチ公口からシブヤ109方向へ。シブヤ109を
右手に、洗東シネタワー (映画館) を左手に見ながら、
道玄坂を4分ほど登った左手。
(道路を挟んで反対側はケンタッキー。ビル1階は、
Y S ROAD というスポーツサイクルショップです)。



*この事業は平成24年度独立行政法人
環境再生保全機構地球環境基金の助成を
受けて実施しています。